

KINJO MIND

KIND

Kinjo University 2013.3 | No.16

在学生ピックアップ

後援会活動報告

- 平成24年度後援会 地域別説明会・個別相談会
- 決算見込み及び経費執行経過報告

大学行事

- 卒業研究発表会
- 学生との意見交換会
- 『金城Hot Spot』点灯式
- 平成24年度卒業証書・学位記授与式

トピックス

- 第7回保健・医療・福祉創造フォーラム(旧福祉創造フォーラム)開催報告
- FD研修会開催報告
- 卒業生記念植樹
- 医療健康学部作業療法学科開設(平成25年4月)

研究・教育活動報告

- 研究活動成果報告会開催報告
- 科学研究費助成事業採択状況
- 「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」状況報告 など

クラブ・同好会活動報告

平成24年度卒業パーティー

平成25年度大学行事案内

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など



在学生ピックアップ

ボランティアで東北を再訪し、被災地の今を再認識しました。



社会福祉学科 社会福祉専攻
3年 山内 早織

今年度は学内外で、さまざまな活動に参加してきました。その中で最も印象に残っているのは今年の7月上旬、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市の災害ボランティアセンターでのボランティアです。

滞在中は昨年、がれき撤去をした広田町も再訪しました。そこでは全壊した建物の基盤が目立っていました。ほかの町も取り残された踏切が背丈の高い草で覆われていたり、道路と私有地の境界線が分からず車が民家の庭を通ったりと、至る所まで復興に時間がかかることを痛感しました。



震災から2年。報道が減っているせいか、徐々にその記憶が薄れている方も少なくありません。しかし、実際に

現地を訪れ、「ボランティアに参加する方が徐々に減り、忘れられている気がして怖い」「今からが大変」などの地元で暮らす方の声を聞くと、決して風化させてはいけないと強く感じました。

このように、その場を訪れることで、初めて気づくこともたくさんあると思います。残りの学生生活でも「学生にしかできない活動」に積極的に取り組み、多くの学びを得たいです。

ボランティア活動に励み、多くの笑顔に出会えました。



社会福祉学科 社会福祉専攻
3年 館 美奈子

大学生生活ではこれまで、さまざまなボランティアに取り組みました。どこへ行っても素敵な笑顔に出会えて、幸せな気持ちになることができました。中でも一番思い出に残っているのは、高齢者施設での交流です。

施設の夏祭りを手伝った時、利用者さんと一緒にお店を回ることにになりました。中には「一緒に回りたくない」と言われる方もいて焦りましたが、その方のペースを尊重して、お祭りを楽しむことができました。その施設は高校の時から訪問していたので、施設内で「あんな見たことある子やね」と

声を掛けていただいた時はうれしかったです。お年寄りの交流は自分の励みになるので、やりがいを感じています。

このほか、障害者の方とも交流しました。普段あまり関わる機会がないので、最初は不安でしたが、絵を描くことが好きな方で、2人で一緒に描いているうちに、少しずつ打ち解けて、最後は会話も弾むようになりました。

ボランティアに参加するたびに、貴重な体験をさせていただいています。経験することで分かることもあり、私にとって大学とはまた違った勉強の場となっています。



評価実習で貴重な体験ができ、夢への想いが強くなりました。



理学療法学科
3年 坂田 知美

1ヶ月間の臨床評価実習では戸惑うことが多く、年代の異なる方とコミュニケーションを取ることに難しさを感じました。最初の1週間は、とにかく患者様の顔と名前を覚えることに必死でした。やがて患者様やご家族の方とも会話ができるようになり、その方が退院される時に「ありがとね」と言われた時はとてもうれしかったです。まだ感謝されるような動きはできていないと思っていたので、これを機会にさらに努力を続けていきたいです。

実習ではこのほか、バイザーの先生の治療を見学させていただきました。先生の治療を見学させていただきました。



人を思いやるケアの大切さを患者様から教えられました。



理学療法学科
4年 北 誠之

臨床実習で身体にさまざまな障害があり、日常生活を送ることが困難な患者様と関わった時のことです。最初、私は病室ばかりに目が行き、患者様自身を見る余裕がありませんでした。コミュニケーションも満足に取れず悩んでいたある日、その方の病室の前を通りかかると、いつもリハビリ室では、明るく笑っている患者様が一人泣いている姿を見ました。その時、その患者様のことを、何もわかっていなかったことに気がつきました。



この4年間で知識や技術の習得以外にも患者様を思いやることの大切さを学べたことは将来、必ず活きたと確信しています。この先も、学修の成果を無駄にせず、思いやりのある医療を提供できる理学療法士になれるように頑張りたいです。

この経験をを通して、患者様は精神的にもダメージを負っていることを知り、理学療法士は心のケアも仕事のひとつだと学びました。再び生きがいを得られるようにしっかりと患者様と向き合い、理学療法を提供することにより、全員が元の生活に戻ることは難しいかもしれませんが、できるだけ患者様の想いに応えたいと思いました。

後援会 活動報告

平成24年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

12月8日(土)に、能登会場・福井会場・富山会場の3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。能登会場はホテルウエルネス能登路にて15名、福井会場は福井パレスホテルにて20名、富山会場はオークスカナルパークホテル富山にて35名、合計70名の保護者の方にご参加いただきました。

各会場ともご参加いただいた保護者の方にはたいへん好評で、修学や学生生活、就職や各種資格に関する多くのご質問・ご意見をお受けしました。本会としても引き続き、より多くの保護者の方にご参加いただける事業となるよう改善をしながら今後取り組んでいきます。



決算見込み及び経費執行経過報告(購入備品・寄付状況等について)

平成24年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会費	15,135,000
利息	878
雑収入	0
前年度繰越金	2,203,329
合計	17,339,207

平成24年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	4,920,000
就職・教育活動支援費	4,806,191
会員研修費	300,000
研究活動支援費	681,450
会議費	650,926
通信費	500,000
慶弔費	300,000
事務費負担金	500,000
広報費	896,000
雑費	130,000
卒業記念品代	920,000
予備費	0
合計	14,604,567

次年度繰越金(見込み)	2,734,640
-------------	-----------

後援会予算による物品等の購入及び使用について

就職・教育活動支援費

年間を通じて、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、その経費の一部を補助しています。

卒業記念品代

ボールペンセット(パーカー)を購入し、平成25年3月18日(月)卒業式当日、卒業生(229名「前期卒業生3名を含む」)に贈呈しました。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、平成25年1月に発行し、全学生に配付しました。

クラブ・サークル等特別補助

中村有哉さん(社会福祉学部社会福祉専攻4年)が日本設備管理学会春季大会(青山学院大学)に論文投稿し、「視野狭窄者支援めがねの開発」について学会発表を行いました。この学会発表はクラブ・サークル等特別補助制度に該当し、学生活動支援費より参加経費を補助しました。



広報費

年2回、会報誌『KIND』を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報を提供しています。また、ホームページも随時更新し、事業内容等の報告を行っています。

※その他、各費目の詳細につきましては、平成25年度後援会総会(平成25年6月8日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学行事 トピックス

卒業研究発表会

医療健康学部：平成24年10月6日
 社会福祉学部：平成24年12月5日・平成25年2月

医療健康学部は、10月6日(土)に学部全体で卒業研究発表会を行いました。また、社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行いました。大学生活での学修の集大成として研究成果を発表し、教員や在学生からさまざまな質問が投げかけられ、熱のこもった発表会となりました。



学生との意見交換会

平成24年12月13日・20日

例年実施している学生との意見交換会は、学部別で12月13日(木)と20日(木)に行われました。両学部の1年生から4年生の学生と教職員が、各施設や授業運営など多岐に渡り約2時間、意見を交えました。大学では、学生からの意見を参考に、よりよい教育環境の整備に努める予定です。

『金城Hot Spot』(電飾イルミネーション)点灯式

平成24年12月19日



昨年度に引き続き、エントランスサークルに雪吊りをイメーajしたイルミネーションが施され、12月19日(水)に「きらめき☆スマイル」をテーマとした点灯式が行われました。今年度のテーマは、学友会からの提案によるもので、光と笑顔のきらめきが一体となつて世の中を明るくすることを祈念しています。式では、短大部幼児教育学科学生によるハンドベル演奏、西南幼稚園園児によるクリスマスソングが披露されました。賑

やかな雰囲気誘われて、サンタクロースとトナカイが現れ、参加者に一足早いクリスマスプレゼントが手渡されました。イルミネーションは、2月17日(日)まで点灯されました。

平成24年度卒業証書・学位記授与式

平成25年3月18日

3月18日(月)に第10回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生162名、医療健康学部の卒業生64名が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤児理事長が告辞を述べ、奈良勲学長が「自分の可能性を能力に変え、自己実現をしてほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、富澤香月さん(医療健康学部)が答辞を述べました。

同日、会場をANAクラウンプラザホテル金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。次年度の卒業式は、平成26年3月18日(火)に白山市松任文化会館にて行われる予定です。
 ※卒業パーティーの様子は裏面参照



トピックス

第7回保健・医療福祉創造フォーラム (旧福祉創造フォーラム) 開催報告



11月4日(日)に、第7回保健・医療・福祉創造フォーラム(北國新聞社共催)が本学にて開催され、保健・医療・福祉の施設職員、一般学生などが参加しました。メインテーマを「福祉サービスの夢と使命―地域に活力を―」とし、松原良子氏(社会福祉法人福梅会生活支援ハウスほたるの里 施設長)に

よる基調講演「日々のエピソードをチャンスと捉え」が行われました。講演後には、医療・福祉ビジネス、介護福祉・社会福祉、こども、医療健康の4分科会が開かれ、各分野から講師を招き、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

FD研修会開催報告



金城大学では、積極的にFD (Faculty Development) 研修会を実施しており、第1回(7月31日(火))は奈良勲学長(医療健康学部長)による「金城大学のこれから―教育哲学と教育方法論―」が行われました。第2回(11月27日(火))は杉森公一助教(医療健康学部)による「いま大学教育に求められていること teaching from the topへ主体的な学修に向けて」が行われました。第3回(2月26日(火))は井上大輔氏(株式会社KEEPAD JAPAN)を講師に招き、「クリッカ! 電子黒板の教育現場での活用について」が行われました。

卒業生記念植樹

4年次前期の学納金にて学友会特別事業費を納付いただいたおり、その特別事業の一環として、例年、卒業生記念樹を寄贈していただいています。今年度はキャンパス内にバラ園が整備されました。



医療健康学部作業療法学科開設(平成25年4月)

平成25年度から医療健康学部にて新たな学科として作業療法学科が開設されることなどに伴い、医療健康学部棟の増設工事を行い、予定通り、12月19日に引渡し完了しました。これにより、更に充実した教育研究設備が整備されました。



研究・教育活動報告

研究活動成果報告会 開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、今年度も金城祭にて、研究活動成果報告会（平成23年度交付者による報告）を行いました。平成24年度の発表者は左記の通りです。また、科学研究費助成事業採択者から瀬戸就一教授（短大部）、新井浩准教授（短大部）も発表を行いました。

- 1 寺尾 研二 准教授（医療健康学部）
「本学における臨床実習について―臨床実習体験表を通して―」
- 2 佐々木 賢太郎 准教授（医療健康学部）
「頸部呼吸補助筋の筋活動量から換気性作業閾値を予測することは可能か？」
- 3 神谷 晃史 講師（医療健康学部）
「人工股関節置換術前後における姿勢の変化について―第13回国際複合環境要因学会（ICCEE2011）での口頭発表報告―」
- 4 木村 剛 助教（社会福祉学部）
「認知力が歩行動作に与える影響の解析」
- 5 内慶 瑞 准教授・大友 順治 教授（社会福祉学部）
「学生ボランティア活動の実態と課題（その2）―大学ボランティアセンター開設に向けての基礎資料の収集―」



- 6 田中 克恵 准教授（社会福祉学部）
「高齢者の転倒予防のためのフットケアに関する研究」
- 7 小島 聖 講師（医療健康学部）
「足趾筋力と足底重心軌跡との関係性」
- 8 野口 雅弘 講師（医療健康学部）
「第13回国際複合環境要因学会（ICCEE2011）での口頭発表報告」
- 9 杉森 公一 助教（医療健康学部）
「第52回サヘルシンポジウムでのポスター発表報告」

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成24年度の採択・交付者は左記の通りです。

- 1 田中 克恵 准教授（社会福祉学部）
「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」
- 2 川邊 弘之 教授（社会福祉学部）
「聴覚障害学生のための聴講支援システム―質より量のアプローチによる音声認識―」
- 3 永井 将太 准教授（医療健康学部）
「回復期脳卒中患者のADL訓練用クリニカルパスの作成とその効果検証に関する研究」
- 4 永原 朗子 教授（社会福祉学部）
「批判的リテラシーを育む福祉科教育における問題解決学習プログラムの開発」
- 5 元村 智明 講師（社会福祉学部）
「戦前石川県下の公共性の論議形成と共同性確保に関する研究―経済保護事業を中心に―」
- 6 瀬戸 就一 教授（短大部）
「聴覚障害学生に教員の熱意を伝える感情フォントシステムの開発」
- 7 新井 浩 准教授（短大部）
「大学教員の教授力向上のための自己訓練システム」

「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」状況報告

下村有子教授（社会福祉学部）の研究「視野障害者自立支援がねの社会実装」が、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）」実装支援プロジェクトに採択され、現在、視野狭窄、半盲、暗点などの視野障害をもつ方に視野を拡張するめがねを使用してもらうことで、日常生活の自立を支援しようと、研究開発が進められています。研究開発期間は平成23年10月から平成26年9月までの3年間です。

「平成24年度 調査研究助成事業」

松浦万里子教授（社会福祉学部）の研究「安定的施設経営と教育育成システムに関する研究―中堅職員の育成と科学的介護の構築を目指す研修システムを中心に―」が、公益社団法人全国老人福祉施設協議会の「調査研究助成事業」に採択されました。研究期間は平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間です。

平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」採択

文部科学省による公募の「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に、金城大学と金城大学短期大学部が申請した取組が、いずれも採択されました。金城大学が採択された取組は「福祉のリーダーを育成するためのアクティブラーニング環境の整備」で、主体的な学びへの転換を図り、学生の学修効果を最大限発揮するための効果的な教育を行うための環境整備に取り組んでいきます。



クラブ・同好会 活動報告

学生活動支援費から援助金を支給しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子卓球部

活動内容 全員共同生活でチーム力の向上も図りながら、全日本大学総合卓球選手権大会、全日本選手権、各種大会の入賞を目指して日々練習に励んでいます。

活動報告 (T:団体 W:ダブルス S:シングルス)
百万石オープン卓球大会S:第3位、全日本大学総合卓球選手権大会T:ベスト32 S:ベスト16、中部日本卓球選手権大会W:優勝、春季北信越学生卓球選手権大会T:優勝 W:優勝 S:優勝、夏季北信越学生卓球選手権大会 T:優勝 W:優勝 S:優勝、秋季北信越学生卓球選手権大会 T:優勝 W:優勝 S:優勝、全日本学生選抜卓球選手権大会 S:ベスト16



女子バレーボール部

活動内容 部員数:16名(大学4年3名、3年1名、2年3名、1年5名、短大2年2名、1年2名)代表者:岩井佳織「全員ハレ」をモットーに、メンバーは切磋琢磨しながら、全国上位を目指して頑張っています。

活動報告 北陸三県学生春季リーグ戦 優勝(6季連続15回目)、春季北信越大学選手権大会 優勝(2季連続12回目)、石川県バレーボール祭 優勝(6年連続6回目)、北陸三県学生秋季リーグ戦 優勝(7季連続16回目)、秋季北信越大学選手権大会 準優勝、石川県6人制総合男女選手権大会 優勝(2年連続5回目)、愛知県大学オープン大会 3位、全日本大学選手権大会決勝トーナメント2回戦進出



男子バレーボール部

活動内容 週4回の練習では競技力の向上はもとより、心身を鍛えることで魅力的な生き方ができるようにと、汗を流しています。目標は北信越1部リーグ優勝を果たし、インカレで注目チームとなることです。

活動報告 春季北陸三県大会2部1位、1部昇格、春季北信越大学選手権大会2部2位、入替戦敗退、石川県バレーボール祭1回戦敗退、中部日本6人制総合選手権大会石川県予選1回戦敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会2回戦敗退、秋季北陸三県大会1部4位、秋季北信越大学選手権大会2部優勝、石川県6人制バレーボール総合選手権大会2回戦敗退、全日本学生バレーボール選手権大会 予選通過、1回戦敗退、石川県ウィンターリーグ出場



キンボール部

活動内容 水・金曜日に日輪体育館で練習しています。メンバーは全員大学生で、人数は4年生8人、3年生1人、2年生11人の計20人です。大会も多く、みんな一生懸命練習に励んでいます。男女関係なく楽しめるスポーツです。

活動報告 第10回つばた町キンボール交換会、第13回ジャパンオープンチャンピオンズカップ、第10回石川オープンキンボールスポーツ大会、第5回キンボールスポーツとやまカップ、第8回日本海カップ2012 in ISHIKAWA、第10回小矢部キンボール交流大会などに出場



マーチングバンド部

活動内容 毎週火曜日、木曜日(本番前は毎日)リズム室・ピアノレッスン室にて練習をしています。

活動報告 11月23日(金)ひびきまつり「響け☆音楽とダンスのつどい」に出演。楽器紹介や「Everyday、カチューシャ」を演奏。1月19日(土)第34回金城大学短期大学部幼児教育学科ステージ発表に出演。「リトル・マーメイド」を演奏



バレーボールアカデミー

活動内容 毎週水曜日に松任高校体育館にて2時間〜3時間、松任高校女子バレーボール部と練習しています。練習内容は、基礎練習から始まり、個々のスキルアップのための練習が多いです。練習の最後に練習試合を2、3セットほどしています。また、依頼があれば、近隣の中学校や高校にボランティアで練習のお手伝いに行くこともあります。

活動報告 11月25日(日)に行われた、第8回白山市6人制バレーボール祭に出演。この大会では、男子は3位入賞、女子は優勝



男女バスケットボール部

活動内容 毎週月・木・日曜日の午後6時から日光アリーナで活動しています。

男女共に目標は北信越で上部昇格です。基礎的な練習以外にも、経験を積むために他大学や社会人チームとの練習試合や大会に出場など、スキルアップに努めています。

活動報告 笹本杯争奪北信越バスケットボール春季リーグ戦大会

男子3部B 第1位 女子4部 第1位、安田杯争奪石川県バスケットボール選手権 2回戦敗退、北信越秋季バスケットボール選手権大会兼インカレ予選出場



ダンス部

活動内容 毎週月曜日と金曜日に短大リズム室で練習しています。土日は福祉施設や地域のお祭りなど様々なイベントに参加し、練習の成果を披露しています。また、毎年冬には自主公演も行っています。

ダンス以外にも、ボウリング大会やBBQ、夏合宿といった行事も盛りだくさんです。

活動報告 春合宿・新入生歓迎会・石川県

大学ダンス連盟の公演・秋合宿・金城祭でのショーケース・自主公演



硬式野球部

活動内容 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、

夏休みと春休みは毎週火・木・土・日曜日、授業期間中は毎週土・日曜日に練習しています。大会は春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦、私立

立大学大会があり、一つでも多く勝利を収められるようチーム一丸となって活動しています。

活動報告 平成24年度北陸大学野球春季リーグ戦5位 北陸大学野球新人戦1回戦敗退、中日

旗争奪北陸私立大学野球選手権大会1回戦敗退、平成24年度2部 北陸大学野球秋季リーグ戦4位。創部以来初めて秋季リーグ戦で勝ち越すことができ、来年度に向けて良い結果で終えることができました。



卓球サークル

活動内容 週に2回(水・金曜日)、午後4時から午後8時半まで練習しています。楽しく卓球をしたい人、軽くスポーツをしたい人など様々な人がいます。地元

の大会にも参加したりしています。今年

は学園祭に参加したり遊びに行ったりしたことで部員同士の仲も深まってきました。経験者・初心者関係なく楽しく活動しています。

活動報告 金沢市民卓球選手権大会・シングル2回

戦敗退、平成24年度夏季北信越学生卓球選手権大会兼第79回全日本大学総合卓球大会(個人の部)北信越地区予選・2回戦敗退、加賀地区卓球大会・シングル1回戦敗退、白山市民卓球選手権大会・シングル1回戦敗退、金沢市3人団体卓球選手権大会・2位リーグ中3位 第8回白山市卓球選手権大会・リーグ戦敗退



スラックラインサークル

活動内容 今年結成したサークルで、平日はS棟と食堂を結ぶアーケード周辺で活動しています。

週末には北陸のスラックラインチームの方々と公園やイベントでラインセッションを行っています。今後はもつと部員を増やして、多くの人と一緒にスラックラインという新しいアウトドアスポーツを楽しんでいきたいと思います。

活動報告 5月に石川県立大学のスラックライン部とラインセッションを行いました。また、10

月の学祭では福井・石川・富山のスラックラインチームの方々を招きスラックラインのデモンストレーションと体験会を行い、学祭に訪れた多くの方々にスラックラインを楽しんでいただきました。



平成25年
3月18日

平成24年度

卒業パーティー



平成25年度 大学行事案内

平成25年度 入学式：平成25年 4月 1日(月)
 平成25年度 新入生歓迎会：平成25年 4月 6日(土)
 平成25年度 新入生宿泊研修：平成25年 4月12日(金)～14日(日)
 平成25年度 後援会総会：平成25年 6月 8日(土)
 第38回 金城祭：平成25年10月26日(土)・27日(日)
 平成25年度 地域別説明会：平成25年12月14日(土)

金城大学 学部・学科構成 一覧



金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。
	教育理念	教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
金城大学	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在養成
	目的及び使命	教育基本法および学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。
	教育目標	社会福祉、保育及び幼児教育、また医療及び健康を担う総合力と旺盛な意欲、職場の即戦力につながる社会人の基礎、そして社会で幅広く活躍する積極性を身につけ、福祉の心を持ったエキスパートとして卒業生を社会に輩出する。

大学案内・募集要項

《入試広報部》

フリーダイヤル
0120-276-150

TEL
076-276-5175 (直通)

FAX
076-275-4316

E-mail
daigaku@kinjo.ac.jp

KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第16号 平成25年3月25日発行 編集兼発行：金城大学後援会 事務局
 (学)金城学園理事長 加藤晃 金城大学学長 奈良勲 後援会会長 実盛祥隆(株式会社ナナオ 代表取締役社長)
 石川県白山市笠間町1200 TEL.076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL>http://www.kinjo.ac.jp/ku/ <E-mail>u-koenkai@kinjo.ac.jp